



「海ごみに関する国際シンポジウム」でHSCの活動発表

「美しい海を取り戻そう～地球規模で移動する海ごみの問題～」をテーマとする「海ごみに関するシンポジウム」が11月28日、鳥取環境大学主催で、同大学大講義室において開催されました。

小林慎太郎副学長のあいさつの後、米国オレゴン州立大学サミュエル・S・チャン准教授から「オレゴン州における漂着物の現状とその生物への影響」と題する基調講演がありました。この要旨は、東日本大震災により米国西海岸に漂着してきた膨大なごみ処理の問題だけでなく、浮き桟橋や船の漂流物に付着して漂着してきた日本固有の海藻類、魚、貝類、カニなど150種以上の生物(同国にとって外来種)が、今後、どのように同国海洋の生態系に影響してくるかということが問題視し、研究されており、日米の協力を訴えられていました。

次に実践者の立場からの「美しい鳥取砂丘をいつまでも～市民参加のクリーンアップ～」と題する鳥取市職員の発表、「小さな支流からのアプローチ～八東川クリーン作戦～」と題するHSC矢部理事長の発表、「鳥取環境大学のこれまでの海ごみに関する研究」と題する同大松村治夫教授の講演が続きました。

最後に4名の講演者に加えて同大荒田鉄二准教授、金相烈講師の6人のパネラーと同大サステナビリティ研究所田中勝所長のコーディネートのもとに「世界に広がる海ごみの問題」と題してパネルディスカッションが行われました。



平成26年を振り返る～10周年を超えて新たなステージへ～

平成25年4月にHSC発足10周年を迎え、同年度内に行った記念事業でHSCの平成26年の新年は明け、新たなステージに入ったといえるのではないのでしょうか。会員の高齢化や新会員入会の手詰まり状況などの課題も抱える一方、新たな挑戦への夢がさらに膨らんでくる発展のステージです。この1年を暦で振り返ってみましょう。

- 1月19日 第2回八東川フォーラムの開催 間野隆有氏(矢作川研究所総括研究員)の基調講演、HSC発足10年のあゆみのパネル展示等。約100人の参加。
 - 1月19日 発足10周年記念誌「NPO法人八東川清流クラブ10年にあゆみ」発行
 - 2月23日 発足10周年記念式典の開催 八頭町長・国交省鳥取出張所長などをご招待し、20人の参加
 - 3月13日 千代川流域圏会議発足15周年記念事業発表会で活動発表
 - 3月19日 中国ろうきん寄付金贈呈式
 - 4月26日 八東川クリーン作戦の実施 約100人の参加
 - 5月25日 定期総会の開催 役員等の大幅改選。中村顕顧問、矢部博祥理事長、田中朝子副理事長に。
 - 6月 3日 八東川源流探検 八東小学校4年生15人とともに。
 - 7月30日 全労済助成金贈呈式
 - 8月 2日 川遊びフェスタin八東川の開催 約150人が参加。新聞社・八頭町広報担当の取材
 - 8月23日 「千代川フェスティバル'14」(千代川流域圏会議主催。殿ダム記念広場で開催)にパネル等出展
 - 9月21・22日 NACS-J自然観察指導員講習会に初参加(松本輝夫氏・加藤幸博氏)
 - 10月15日 鳥取県防犯連合会長・鳥取県警察本部長(連名)から防犯・青少年県選育成の功労で表彰
 - 11月 9日 八頭町男女共同参画フェスティバルにパネル等の出展
 - 11月28日 「海ごみに関する国際シンポジウム」(鳥取環境大学主催)で講演及びパネリスト参加
- その他、小学校への出前授業は多数回、会報は毎月発行、ホームページの維持管理などの啓発事業実施
マスコミ等での報道も多数回(記事等掲載 12回、ラジオ放送1回、CATV放送1回、テレビ関連放送1回)

今後の活動計画

- ・12月19日(金) 例会・忘年会 17:00～ (谷口旅館)
- ・2月7日(土) 例会 15:00～ (八東公民館)

【例会の開催について】

- ・日時： 12月20日(土)17:00～18:00(後、忘年会)
- ・場所： 谷口旅館
- ・例会： ①平成27年度事業計画骨格の再確認
②会員拡大の検討
③その他

※ 例会にできるだけ出席しましょう!!